

2014年10月6日  
日立マクセル株式会社

コンテンツ保護技術 SAFIA 対応\*1 の  
カセットハードディスク「iV(アイヴィ)」\*2 が使える  
ブルーレイディスクレコーダー「アイヴィブルー」が、さらに進化して登場  
ダブルiVスロット搭載モデルなど2機種、スマート端末で録画番組の視聴も可能



日立マクセル株式会社(取締役社長:千歳 喜弘/以下、マクセル)は、コンテンツ保護技術 SAFIA\*1 に対応したカセットハードディスク「iV(アイヴィ)」\*2のスロットを搭載したブルーレイディスクレコーダー「アイヴィブルー」の新モデル 2 機種を 10 月 15 日に発売します。

■製品情報

品種	型番	内蔵 HDD 容量	iVDR スロット数	発売日	価格
iVDR スロット搭載 ブルーレイディスクレコーダー 「アイヴィブルー」	BIV-TW1000	1TB	2	10月15日	オープン
	BIV-WS1000	1TB	1		

マクセルは 2013 年 4 月に世界で初めて\*3、ブルーレイディスクおよび iVDR でそれぞれ採用されている 2 つの異なるコンテンツ保護技術方式を一体製品化した iVDR スロット搭載ブルーレイディスクレコーダー「アイヴィブルー」を発売しました。

このたび発売する新機種では、「iV(アイヴィ)」を 2 巻同時に使えるダブル iV スロットを搭載\*4し、「iV」から「iV」へのダビングを可能としたほか、スマートフォンやタブレット機器などスマート端末での録画番組の視聴や 4K アップコンバート出力\*5など、ユーザから要望の多い機能を新たに追加しました。これにより、自由でスマートな新しい録画スタイルで視聴を楽しむことができます。

また、BIV-TW1000 の場合、地上デジタル・BS・110 度 CS デジタルチューナーを 3 基搭載しており、3 番組同時録画が可能\*6です。さらに、「スカパー！プレミアムサービス Link」対応のチューナー\*7を接続すれば、最大で 4 番組\*8まで同時に録画することが可能です。

4Kテレビの普及拡大やスマート端末での録画番組の視聴など、テレビ番組の視聴と録画のスタイルはますます多様化が進みます。マクセルでは今後も市場のニーズに応え、より便利で快適な AV 環境を提案していきます。

- \*1 コンテンツ保護技術 SAFIA: SAFIA(Security Architecture for Intelligent Attachment device)は SAFIA ライセンスグループが提供するデジタル TV やデジタルオーディオ等のコンテンツ保護技術です。
- \*2 iV(アイヴイ):カセットハードディスク「iV」は別売です。
- \*3 世界で初めて: ブルーレイディスクレコーダーとして。マクセル調べ。
- \*4 ダブル iV スロットを搭載: BIV-TW1000 の場合。
- \*5 4K アップコンバート出力機能: 対応機種: BIV-TW1000。4K アップコンバートは 4K/24P 出力となります。4K 対応テレビ(別売)と HDMI ケーブル(別売)での接続が必要です。また、1080/24P で記録されたブルーレイディスクソフトが必要です。
- \*6 3 番組同時録画が可能: BIV-TW1000 の場合。BIV-WS1000 は 2 番組同時録画となります。
- \*7 「スカパー !プレミアムサービス Link」対応のチューナー: 本機には内蔵していません。視聴または録画をするためには「スカパー !プレミアムサービス Link」(録画・ダビング)対応チューナーとアンテナ、およびスカパー !プレミアムサービス の契約が必要です。
- \*8 最大で 4 番組: BIV-WS1000 の場合は最大 3 番組となります。

## ■他社商標注記

- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)、Blu-ray 3D™(ブルーレイ3D)、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™および関連ロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他の国々において、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 「iVDR」および「iVDR-S」は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。
- iVDR および iVDR ロゴは、iVDR コンソーシアムの登録商標です。
- スカパー !および「スカパー !プレミアムサービス Link」ロゴは、スカパーJSAT 株式会社の商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

以上

### 【お客様お問い合わせ先】

日立マクセル株式会社 お客様ご相談センター  
〒102-8521 東京都千代田区飯田橋 2-18-2  
TEL: 03-5213-3525 FAX: 03-3515-8261

マクセルウェブサイト<<http://www.maxell.co.jp/>>の「ニュースリリース」ページにも、当リリースを掲載いたします。  
(その他のマクセル製品写真データは、<<http://photo.maxell.co.jp/>>からダウンロードできます。)

## ■主な特長

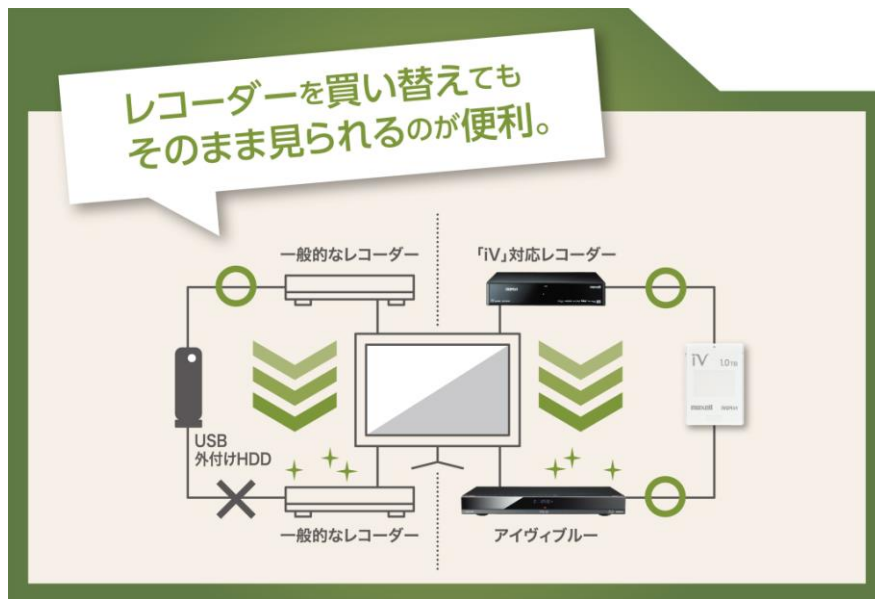
### 1. コンテンツ保護技術 SAFIA\*1 対応のカセットハードディスク「iV」だからココが便利

(1)ハイビジョン放送番組の持ち出しが自由自在

- ・「iV」は iV プレーヤーや日立の液晶テレビ「Wooo」\*2 など他の iVDR スロット搭載機器と再生互換性があるため、寝室や子供部屋、宅外でも自由に録画したハイビジョン番組を持ち出して視聴できます。

(2)レコーダーを買い替えても録画番組が見られる

- ・USB 外付けハードディスク\*3 では、録画に用いたテレビやレコーダーを買い替えた場合、新しい機器では録画した番組の再生ができなくなります。「iV」はコンテンツ保護技術 SAFIA に対応しているため、iVDR スロット搭載機器であればカセットを入れるだけで再生でき、「大切な録画番組が見られなくなった」という心配がありません。



SAFIA 対応による録画番組視聴のイメージ

(3)録画時間を無制限に増やせる

- ・「iV」を追加することで録画時間を増やすことができます。一般的な USB 外付けハードディスクのように追加台数の制限がないため、録画時間を気にすることなく、見たい番組を思いのままに、たっぷり録画することが可能です。

### 2. 新機能のお好み録画で録る、ダブル iV スロットで貯める

- ・気になるジャンルや好きなタレント名、キーワードを設定するだけで当てはまる番組を自動録画する「お好み録画」機能を搭載。気になる番組を録り逃しません。ダブル iV スロットを使えば、残りの録画容量を気にすることなくどんどん録り貯めができるだけでなく、1 巻目の「iV」はドラマ用、2 巻目の「iV」は好きなタレント用にするなど、内容に応じて自動的に振り分けて録画できます。また「iV」から「iV」へのダビングができるので、ライブラリー作りも簡単にできます。



ダブル iV スロット(BIV-TW1000)

### 3. 録画した番組をスマートフォンやタブレット機器で見られる

- ・新しい「アイヴィブルー」は DLNA 対応のため、無線 LAN を介してスマートフォンやタブレット機器などのスマート端末で録画番組の視聴が可能\*4 です。  
スマート端末にダビングして宅外に持ち出すこともできるので、見たい番組をいつでもどこでも視聴できます。



スマート端末での録画番組視聴のイメージ

### 4. 4K アップコンバート出力対応\*5

- ・新しい「アイヴィブルー」は 4K アップコンバート出力に対応しており、ブルーレイディスクソフトの映像を 4K 解像度にアップコンバートします。これまでにない高精細な画質が楽しめます。

### 5. スカパー！プレミアムサービスとあわせ最大 4 番組同時録画対応\*6、最大 12 倍の長時間録画モード対応

- ・地上デジタル、BS/110 度 CS デジタルチューナーを 3 基搭載しており、3 番組同時録画が可能\*7 です。さらに、「スカパー！プレミアムサービス Link」(録画・ダビング)対応のチューナー\*8 を接続すれば、最大で 4 番組まで同時録画が可能です。また、地デジ、BS/CS 録画は 3 番組とも最大 12 倍の長時間モードに対応し、内蔵ハードディスクまたは「iV」500GB なら最大約 543 時間、1TB なら最大約 1089 時間のたっぷり録画が可能です。

### 6. 好きな部屋で番組を楽しむ、「DLNA 対応」\*9

- ・ホームネットワークに「アイヴィブルー」と DLNA 対応の TV やパソコンなどをつなげば、宅内の好きな部屋で録画番組の視聴が可能です。また、DLNA ムーブ IN 機能を搭載しているので、お使いの TV などが DLNA ムーブ OUT に対応した機器\*10 であれば、それらに録画されたハイビジョン番組を「iV」にダビングして持ち出すことができます。録画した機器でしか再生できない一般的な USB 外付けハードディスクに録画した番組もコンテンツ保護技術対応の「iV」にダビングできます。

## 7. 操作ボタンを大きくした、「使いやすい新リモコン」

- 大きなボタンで、見やすく押しやすいリモコンを採用し、操作性の向上を図りました。また、レコーダー本体の操作だけでなく、TV 電源の ON/OFF、チャンネル選局など、TV 操作\*11も行えます。



使いやすい新リモコン

## 8. 機能別に色分けされた新しい GUI を採用した、わかりやすい操作画面

- シンプルなアイコンと機能別に色分けされた GUI (グラフィカルユーザーインターフェース) を採用。使いたい機能がすぐにわかり操作のイメージがしやすいので、アイコンを選んでいくだけでスムーズに録画や視聴が行えます。



操作画面(イメージ)

## 9. 初めてでも迷わずに使える、「カンタンメニュー」

- 初めてのレコーダーで操作方法がわからなくても迷わず使える「カンタンメニュー」を採用。ガイド付きの画面表示なので、取扱説明書なしで録画や視聴、ダビングなどの操作が簡単に行えます。

## 10. 色分け番組表 & 録画番組赤丸表示

- ジャンルごとに色分けした番組表 (G ガイド) を採用。好きなジャンルの番組がすぐに見つかります。また、予約済の番組は赤丸で囲んで表示されるため、外出前の忙しい時間帯などでも一目で確認できます。

\*1 コンテンツ保護技術 SAFIA: SAFIA (Security Architecture for Intelligent Attachment device) は SAFIA ライセンスグループが提供するデジタル TV やデジタルオーディオ等のコンテンツ保護技術です。

\*2 日立の液晶テレビ「Wooo」: iVDR スロット搭載機種および iVDR アダプタ対応機種が対象です。

\*3 USB 外付けハードディスク: 特定規格準拠モデルを除きます。

\*4 録画番組の視聴が可能: すべてのスマートフォンやタブレット機器での動作を保証するものではありません。本機とスマートフォンやタブレット機器を同一ホームネットワークに接続する必要があります。スマートフォンやタブレット機器で視聴するには、アプリケーションソフトを機器にインストールしておく必要があります。

\*5 4K アップコンバート出力対応: BIV-TW1000 で対応。4K アップコンバートは 4K/24P 出力となります。4K 対応テレビ (別売) と HDMI ケーブル (別売) での接続が必要です。また、1080/24P で記録されたブルーレイディスクソフトが必要です。

\*6 最大 4 番組同時録画対応: BIV-WS1000 の場合は最大 3 番組となります。

\*7 3 番組同時録画が可能: BIV-TW1000 の場合。BIV-WS1000 は 2 番組同時録画となります。

\*8 「スカパー !プレミアムサービス Link」対応のチューナー: 本機には内蔵していません。視聴または録画をするためには「スカパー !プレミアムサービス Link」(録画・ダビング) 対応チューナーとアンテナ、およびスカパー !プレミアムサービスの契約が必要です。

\*9 DLNA 対応: 録画したデジタル放送番組の再生等には DTCP-IP (著作権保護) に対応した機器、またはアプリケーションソフトウェアが必要です。すべての機器での動作を保証するものではありません。

\*10 DLNA ムーブ OUT に対応した機器: アップロード型の DLNA ムーブ対応機器に限りです。

\*11 TV 操作: 国内外 14 社のリモコンコードに対応しています。

■主な仕様

型番	BIV-TW1000		BIV-WS1000	
HDD/ブルーレイディスク部	内蔵 HDD 容量	1TB(1000GB)		1TB(1000GB)
	録画方式 (ブルーレイディスク)	Blu-ray Disc™Rewritable Format 準拠、 Blu-ray Disc™Recordable Format 準拠		
	録画方式(DVD)	DVD ビデオレコーディング規格準拠、 DVD ビデオ規格準拠、AVCREC™ 規格準拠		
	録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC / H.264		
	録画方式(iVDR)	iVDR テレビレコーディング規格準拠		
	録音圧縮方式	ドルビーデジタル、リニア PCM(非圧縮)、MPEG-2 AAC、 MPEG-1 audio layer2		
	録画可能メディア	内蔵 HDD、カセット HDD(iVDR)、BD-RE(SL/DL、BD XL TL) Ver.2.1、3.0 高速記録:2 倍速まで、BD-R(SL/DL、BDXL TL) Ver.1.1、1.2、1.3、2.0 高速記録:6 倍速ディスクまで		
	再生可能メディア	【ビデオ】 内蔵 HDD、カセット HDD(iVDR)、BD-RE(SL/DL、BD XL TL) Ver.2.1/3.0、BD-R(SL/DL、BD XL TL) Ver.1.1/1.2/1.3/2.0、 BD-Video、DVD-RW(VR/AVC/Video)*、 DVD-R(VR/AVC/Video)*、音楽用 CD 【フォト】 BD(JPEG)、DVD(JPEG)、CD(JPEG)、SD(JPEG)		
	リージョンコード	ブルーレイディスク: Region A、DVD: #2		
チューナー部	チューナー数	地上デジタル放送、BS/110 度 CS デジタル放送: 各 3 系統	地上デジタル放送、BS/110 度 CS デジタル放送: 各 2 系統	
端子部	映像入力	ピンジャック 1.0V(p-p) 75Ω ×1		
	映像出力	ピンジャック 1.0V(p-p) 75Ω ×1		
	HDMI 出力	HDMI 端子 19ピン Type A ×1		
	音声入力	ピンジャック 2V(rms) 47kΩ 不均衡 ×1		
	音声出力	ピンジャック 2V(rms) 1.0kΩ 不均衡 ×1		
	デジタル音声出力	光コネクタ 角型光ジャック ×1		
	SD カードスロット	SD カード、SDHC カード、SDXC カード対応(miniSD カード、 microSD カードは市販のアダプタを装着して使用可能) ×1		
	USB 端子	USB2.0 準拠 Type A DC5V 最大 500mA ×1		
	iVDR スロット	iVDR コネクタ(SATA 仕様) 26ピン ×2	iVDR コネクタ(SATA 仕様) 26ピン ×1	
	LAN(10/100)	10BASE-T/100BASE-TX ×1		
	地上デジタル入出力	75Ω F 型コネクタ ×各 1		
	BS・110 度 CS 入出力	75Ω F 型コネクタ ×各 1(入力側のみ最大 DC15V、4W)		
	一般	電源	AC100V 50/60Hz 共用	
消費電力(定格)		29W	26W	
年間消費電力量		24kWh/年	22kWh/年	
許容動作温度		5~40°C		
外形寸法		430.0(幅) × 55.9(高さ) × 277.7(奥行)mm(突起部含む)	430.0(幅) × 55.9(高さ) × 271.2(奥行)mm(突起部含む)	
質量		約 3.0kg		

\* ファイナライズ済みの DVD-RW/-R(2 層ディスク含む)。

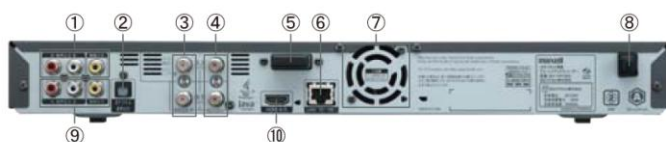
## ■主な仕様(続き)

### 無線 (BIV-TW1000 のみ)

規格	IEEE802.11a/b/g/n(J52 は非対応) ARIB STD-T71(5GHz 帯)、ARIB STD-T66(2.4GHz 帯)
伝送方式	IEEE802.11b:DSSS(DBPSK、DQPSK、CCK) IEEE802.11a/g:OFDM(BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM) IEEE802.11n:OFDM(BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM)
周波数範囲	2.412~2.472GHz(Subject to Local Regulations) 5.180~5.700GHz(Subject to Local Regulations)
動作モード	インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応していません)
セキュリティ	WEP 64bit/128bit、WPA、WPA2

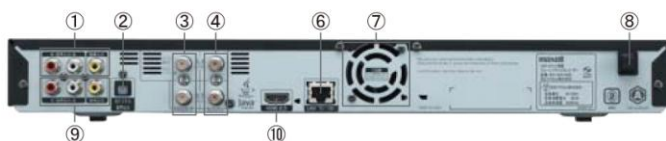
## ■各部分・端子の種類

### BIV-TW1000



- ①映像入力端子/音声入力端子
- ②光デジタル音声出力端子
- ③BS・110度CS入力/出力端子
- ④地上デジタル入力/出力端子
- ⑤無線LANユニット (BIV-TW1000のみ)
- ⑥LAN端子
- ⑦冷却用ファン
- ⑧電源コード
- ⑨映像出力端子/音声出力端子※
- ⑩HDMI出力端子

### BIV-WS1000



※ 市販のブルーレイソフトを再生した場合、アナログ映像出力端子から映像は出力されません。

## ■他社商標注記

- ・Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)、Blu-ray 3D™(ブルーレイ3D)、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™および関連ロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- ・「iVDR」および「iVDR-S」は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。
- ・iVDR および iVDR ロゴは、iVDR コンソーシアムの登録商標です。
- ・スカパー！および「スカパー！プレミアムサービス Link」ロゴは、スカパーJSAT 株式会社の商標です。
- ・DLNA® the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED® are trademarks, of certification marks of the Digital Living Network Alliance の認証マークです。
- ・ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDEおよびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- ・Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- ・"AVCHD 3D/Progressive"および" AVCHD 3D/Progressive "ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

---

ニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。  
予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

---